



令和6年度 国立看護大学校 研修部 保健師助産師看護師実習指導者講習会を開催しました

- 《受講者》 国立高度専門医療研究センター、国立ハンセン病療養所、
国立病院機構 関東信越グループ病院 52名のみなさま
- 《開催方法》 Teamsによるオンライン
- 《講習期間》 1クール：9月11日(水)～9月26日(木)
2クール：10月9日(水)～10月24日(木)
3クール：11月5日(火)～11月15日(金)

開講式の様子



授業の様子



指導案発表会の様子

学生観

身体的側面

- 指導に慣れておらず、すぐに落ち込む
- 実践による強いストレスと疲労
- 真面目で素直な性格

精神的側面

- 同調圧力に弱い
- 自覚性に欠ける
- 打たれ弱い、評価を気にし、失敗を恐れる
- SNSを使った自己表現と自己理解

行動特性

- ロールモデルをみつけて同じようになれるよう真似をする
- 目標達成のために言葉(評判)がうまく取れない
- 援助者と学習者の役割の転換
- 学生同士で知識、技術を比較し、未熟な場合は期間に助けを求めたり、未熟さを隠しすぎる
- 実習を円滑に進めるために関わるとの人と良好な関係を維持しようとする
- 学習機会確保の認めと学習機会の確保の困難
- 患者が持っている困難に対して関わり、患者が感じる苦痛を共感して看護への関心を高めている

学生Aさん

強み

- 素直で真面目
- 協調と自己主張を使い分け、柔軟性があり創造力のある思考
- 社会問題への関心が強い

弱み

- 自信がなく、すぐに落ち込む
- 打たれ弱い
- 対人コミュニケーションや認知症高齢者が苦手
- 未熟さを隠す

学生設定へ

①患者さんの辛さをアセスメントして、どのようなことができるか、実施してどうだったか確認することによって、大事なのだ。

②仲村さんに実践できたことが成功体験として自信につながればいいな。

③そうですね。痛みが改善して少しでも眠れできたことで、仲村さんも不安が軽減したと思います。

④年配の関わりからどのようなことが学べましたか？

⑤とても良い学びですね。理解が深まっても嬉しいです。

Point 気持ちを高める 自己効力感を高められるよう ポジティブフィードバックを行う

考察①

授業時間の減少

- 令和4年度の改正で、1単位あたりの授業数が減少した

母性看護学の重要性

- 女性の役割の多様化に伴い、社会における母性看護学の役割が拡大
- 実習時間の減少により、効果的な指導が求められる

実習の課題

- 各期(妊婦・産婦・褥婦・新生児)に対する学びが重要だが、時系列的に学ぶことが難しい
- 「点」を「線」にする

08 まとめ

生命尊厳の理解 主体的に学ぶ楽しさ 患者に寄り添う素晴らしさ

実習は学生や患者にとって心が揺さぶられる経験となり、人生観が変わる程の貴重な機会となるが、不安や緊張を伴うため心理面への配慮が必要である。

実習指導者として学生へ行う指導は、学生の自己課題に気づきを促すなど、学生の看護観に大きく影響するものであり大変重要な役割である。

本研修では、学生時代の気持ちを思い出すことから始まり様々な事を学ぶことができた。この学びを活かし、未来の後輩となる学生に生命の尊厳への理解や自ら主体的に学ぶことの楽しさ、患者との関りを通して患者に寄り添うことの素晴らしさ等の看護の魅力伝えていきたいと考える。

11月15日(金)閉講式



52名のみなさま、修了おめでとうございます。
今年度で受講を修了された方が、ちょうど500名となりました。

みなさまのご健勝と更なるご活躍を願っております。



大学校長 祝辞



修了生代表 答辞

